

# 3度目のソウル近郊ハイキング (上)

2019.5.28~31 関根茂子

昨年5月のソウル近郊ハイキングは、連日の雨で博物館巡りとなり、小雨の中を峨嵋山アチャサンから浅川巧マンウリが眠る忘憂里公園墓地までS姉の友人である韓国山岳会チョの曹・東植氏ドンシクに引っぱられて歩いただけで、予定した雲吉山ウンギルサンには登れなかった。2度目はその年秋、また雲吉山を計画したが、彰義門チャンイムンから白岳山ベガクサンを経て肅靖門スッチョムンまで漢陽都城ハイキングの翌日は台風接近の雨模様、またまた雲吉山は諦めざるを得なかった。

さて、S姉企画の3度目のソウルハイキング、昨秋のメンバー（70代の女性4人）で、航空券と宿がセットの3泊4日のパックツアー（38,005円）を利用、宿は新規開業の24時間日本語対応のグレイスリーホテルソウルだ。今回は全日程晴天予報、今度こそ雲吉山に登れるぞ。

## ■5月28日(火)晴

成田空港第2ターミナルの出国審査は、昨秋の仁川空港入国審査と同様の自分でパスポートをスキャナ台に置いてスキャンするシステム、出国スタンプも省略、無人化が進んでいた。イースター航空ZE606便は定時10:50より30分以上遅れて出発したが、仁川空港第1ターミナル定時の13:30到着した。両替レートは日本円1万円=107,000W、昨秋よりかなり良い。共同費として@10,000Wを拠出する。

ホテルはソウル市の市庁駅シチャンから近いが、周囲の様子を知るため空港鉄道普通電車（4,250W+保証金500W）をソウル駅で下りて歩くことにする。地上に出て、地図を頼りに周りを見回すが、どうにもホテルへ至る世宗大路セジョンデロは、どこなのか分からない。そこで若い男性に地図を見せて、ホテルの位置を指差すと、スマホでホテルを検索、電話で確認後、鉄道駅前の大通りを横切って、目標の崇礼門スンニエムンが見えるところまで連れて行ってくれた。

門を抜けた向こうがホテルなのだが、門番が「こ



雲吉山（奥、右端の山）

こは通り抜けられない」と右手を指す。地下道をくぐり抜けた南大門路ナンデムンロを渡ると世宗大路に出て、無事、ホテルに到着。20階建ての11階がロビー、客室はそれから上の階だ。カードキーをエレベーター内のタッチパネルに当てると行き先階に止まる仕組みだった。

格安航空券で昼食はついていなかったので腹ペコだ。荷物を置いて、最寄りの地下鉄1号線市庁駅まで下見と、世宗大路探索に出かける。まずは冷麺と海老餃子（4人分合計33,000W）を食べて空腹を満たす。向かう正面は北漢山ブカンサン、通りには飲食店多数、パン屋もコーヒー店もありホテルは好立地だ。地下鉄1号線7番出口から入って改札口へ。地下鉄交通カードにチャージ（10,000W）する。明日は曹東植氏の案内で清溪山チョングクサンイブクへ、待ち合わせは清溪山登山口駅2番出口に10時の約束だ。3時間もあれば登れる簡単な山だから「昼は下山後、食堂で」と彼は言うが、そんなわけにはいかないだろう。パンを3種類、購入（8,000W、2人分なので@4,000W）

さて、ホテルの浴室には浴槽にお湯がでるカラン有、洗い場にもカランとシャワーが設備、日本式にきれいなお湯に入って体が洗えるようになっていた。ベッドに入って電気を消そうと枕元にあるはずのスイッチを探す。そのうちにタッチパネルに手が当た



山頂メ峰



下山後の昼食

り、触りまくって何とか消せた。

### ■5月29日(水)晴

ホテルで豪華に朝食バイキング (@13,200₩) をたっぷり食べて 8:05 ホテル出発。地下鉄1号線市庁チョンノサムガ駅から鍾路3街で3号線に乗り換えて良才まで行く。ヤンジェここで新盆唐線に乗り換え、2つ目が清溪山登山口シンブンダン駅 9:20 だ。駅のトイレの扉は閉まっている状態だと一続きの風景写真になる素晴らしい造りだった。

2番出口の表示でエスカレーターを2回も乗り継ぎ地上へ、待ち合わせらしい韓国人グループがベンチに座っている。地上は日差しが暑くて地下に戻り改札口を見張っていたが、10時を回っても現れない。もしかして地上かと上へ行く途中、行き違いの下りエスカレーターに彼の姿が……。下山口に車を置いて、バスで駅に来たのだった。

ハイキング開始 10:10、足の速い彼についていくのは、はじめから諦めてはいるものの、あまり遅れるのも申し訳ない？ よく整備された階段道を周りの植物を見ながら歩いていく。平日でもハイカーで賑わい高尾山なみの人出だ。ポイントで遅れる私を待っては、再び進むことを繰り返しながら登って、メボンメ峰に 12:18 到着。彼曰く「清溪山本峰というべき最も高い標高 618m の望景峰は、マンギョンボン軍施設に占拠されていて立入禁止」とのこと。

混雑するメ峰の先の望景峰方向に尾根を進み、下山コース分岐でひと休み。谷沿いのまき下り道は階

段が少なく足に優しい。足元にハクウンボクの花が落ちていた。以後、ハクウンボクの幼木がやたらに目につく。踏みしだく松葉をよくよく見れば3本葉だった。

車道に下り着いた右手は軍施設入口 14:18 で左に歩くと立派なお寺(チョンドサ)が見えてくる。お寺に入るとハンテンボクの大きな木に花がたくさんついている。イタチハギもあった。チョさんが予約の昼食店に着いたのは 14:30。昼時を大幅に過ぎていたので貸し切り状態だ。早速、料理が運ばれてくる。牛肉と豚肉の焼肉がメインのおかず、白米の釜飯は御飯をどんぶりに全部盛って、お焦げの付いた釜にホウジ茶? をたっぷり注いで蓋をする。食事の終わりにはお焦げがすっかりはがれ、注いだお茶とともに食べられるのだ。これが結構、おいしかった。(@15,000₩)

食後、チョさんの車で3号線の南部ターミナル駅に送ってもらう。お土産にソウル銘菓のクルミ入りカステラボールの箱詰めをいただく。お礼の意味で昼食代を私達が支払ったのが、かえって彼に散財をさせてしまったようで申し訳なかった。帰りはウルチロサムガ乙支路3街駅で2号線に乗り換えて市庁駅に戻った。地下鉄駅の構内は複雑だが、立っていた案内人にホテルに近い1号線の7番出口を教えてもらって無事に帰館できた。遅い昼御飯だったので、持っていたパンを少しかじって夕食とする。(以下次号)